評価表(地域密着型特別養護老人ホーム) 【令和5年度開所分】

1 事業評価

法人名: 社会福祉法人洛和福祉会

区分		評価項目		評価基準		評価点		社会福祉法人洛和福祉会
法人評価・事業の継続性・安定性	事業実績	施設運営の実績	る場合 で応募する場合 で応募する場合 で応募する場合	する法人本市に	地域密着型特別養護老人ホームを3年以上運営している。(令和4年4月1日時点)	10	いずれかに○ ※該当するもの	
					地域密着型特別養護老人ホームを運営している。(令和4年4月1日時点)	8		-
					特別養護老人ホーム(広域型)を運営している。(令和4年4月1日時点)	6		
				有する法人本市外に	地域密着型特別養護老人ホームを3年以上運営している。(令和4年4月1日時点)	5	いずれか.	-
					地域密着型特別養護老人ホームを運営している。(令和4年4月1日時点)	3		
				所 を	特別養護老人ホーム(広域型)を運営している。(令和4年4月1日時点)	1	にも 〇の	
				当該サービ	スを3年以上運営している。(令和4年4月1日時点)	10	※ い該	
				本市内で介護・医療・福祉事業を3年以上運営している。(令和4年4月1日時点)		7	ず当 れす かる	10
				代表者又は 和4年4月1日	管理者が当該サービスにおける介護等の実務経験を3年以上有する。(令 日時点)	3		
			本市公募案件で選定内容の不履行がある。【以下のいずれかに該当があれば減点】 ・選定辞退又は事業所を廃止したことがある。〔辞退した日又は廃止日から6年間〕 ・開所も度の遅延又は定員不足で開所したことがある。〔開所した日又は不足を解消した日から3年間〕 ・事業所を休止したことがある。〔再開した日から3年間〕			-15		-
	決算状況	収支(単年度)の状況	過去2年間の	の単年度決算	の状況	(いずれも黒字)	(いずれか黒字)	5
			直近決算が累積黒字である。			5		5
		財務外部監査の実施状況	監査法人による外部監査を実施している。			5		5
	<i>1</i> = ±∓ ↓ u	第三者評価の受審	平成30年度~令和3年度の間に、第三者評価を受審している(法人の運営する全サービスの既存事業所のうち1事業所以上、他の都道府県のものでも可、ただし、同一法人内の事業所に限る)。 ※地域密着型サービスで受害が義務付けられている外部評価を除く。			5		5
	信頼性	実地指導の指摘状 況	過去2年間(令和2年度〜令和3年度),法人の運営する全サービスの既存事業所のうち,文書指導 (※)を受けたものがある。[以下のいずれかに該当があれば滅点] (※サービス計画未作成・手続遠反、艱難訓練未実施、事故・苦情記録未整備、個人情報保護に 係る不備及び身体拘束に関するもの、報酬返還を伴うもの)。			-15		-15
施設・設備・運営計画	計画地	所有関係	土地及び建物が自己所有である。				(いずれか所有) 3	5
		安全性	緊急時の避難に配慮し、平屋建てであるか、2階建て以上の場合に周回バルコニーを設置している。			5		5
		共同生活室の面積	利用者1人当たりの確保面積(内法)			(6㎡以上) 5	(4.5~6㎡未満)	3
		居室(施設内の最小床 面積の1室)の面積	18㎡以上(内法)				5	
		トイレの設置状況	トイレを各居室に設置し		こいる。	(各居室に設置)	(3人に1箇所)	3
			いずれの項目につ もユニットごと	B1-01-7	利用者3人に対してトイレを1箇所以上設置している。	5	3	,
					単桁ナ用トイレを設直している。		5	5
		浴室の設置状況	浴室を設置している。 ※浴槽を設置していることが必要。シャワーのみは不可			5		5
			特殊浴槽を設置している。			5		5
		地域父流スペース	サロンを設置している。(15㎡以上) 介護職員等としての実務経験が10年以上(令和4年4月1日時点)			5		-
	人員	管理者の実務経験	※管理者等,直接処遇でない職種の実務経験を除く。			5		5
		介護職員等の配置	管理者としての実務経験が2年以上(令和4年4月1日時点) 小護職員又は看護職員を常勤換算方法で2:1以上を配置			5		5
	利用料金の減免							_
			社会福祉法人滅免を実施している。			5		5
	協議事業に係る併設等の営業 定期巡回・随時対応型訪問介護看護, 小規模多機能型居宅介護, 看護小規模多機能型居宅介護 体制					5		-
合 計						100		61
評価の順位								2